

|          |  |         |        |
|----------|--|---------|--------|
| 科目名      | 保育実習指導Ⅱ（保育所）   |         |        |
| 担当講師     | 剣持佐智子  | 実務経験の有無 | 有・無    |
| 授業形態・単位数 | 演習 30 時間・1 単位  | 開講学年    | 2 年 前期 |
| 評価基準     | レポート・提出物（50%）、実習準備の確実な遂行（20%）、授業態度・参加の積極性（30%）   |         |        |
| 目標       | 1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。<br>2. 今までの実習から自己課題を見出し、保育改善に努め実践力を養う。<br>3. 事例を通して子どもの姿の読み取りや記録の仕方を具体的に学び幼児理解を深める。<br>4. 指導案作成について具体的に学び、指導案に基づいた実践力を行う。<br>5. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 |         |        |
| 回        | 講義内容   | 方法      |        |
| 1        | オリエンテーション / 保育実習Ⅱの意義や目的・学ぶ内容について / 保育実習Ⅰを終えての課題の明確化（日記を読みかえす）  | 講義・演習   |        |
| 2        | 実習先についての理解 / 実習課題への取り組み / 実習生紹介書等の準備   | 講義・演習   |        |
| 3        | 実習日記を通しての学び  | 講義・演習   |        |
| 4        | エピソード記録のとらえ方・書き方 / 模擬保育について  | 講義・演習   |        |
| 5        | 保育の表現技術を生かした保育実践   | 演習      |        |
| 6        | 実習オリエンテーションの受け方、細菌検査等について<br>自己課題への取り組み（途中経過報告）  | 講義・演習   |        |
| 7        | 部分実習指導案の作成   | 講義・演習   |        |
| 8        | 模擬保育に向けての取り組み  | 講義・演習   |        |
| 9        | 模擬保育   | 演習      |        |
| 10       | 保育士の専門性と職業倫理   | 講義      |        |
| 11       | 実習課題の設定 / 保育技術実践のポイント  | 講義・演習   |        |
| 12       | 実習の諸注意・直前確認 / 巡回担当教員との面談   | 演習      |        |
| 13       | 保育実習事後指導：実習の総括と自己評価  | 演習      |        |
| 14       | 実習事後指導：実習体験の報告と共有（ポスターセッション）   | 演習      |        |
| 15       | 実習先からの評価に基づく今後の課題の明確化 / 巡回担当教員との面談   | 面談・演習   |        |
| テキスト・参考書 | ・「生活事例からはじめる教育実習・保育実習」（青踏社）・「幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド」（わかば社）・「実習日記・実習指導案 パーフェクトガイド」（わかば社）・教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（萌文書林）・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（厚生労働省）」「実習の手引き」      |         |        |